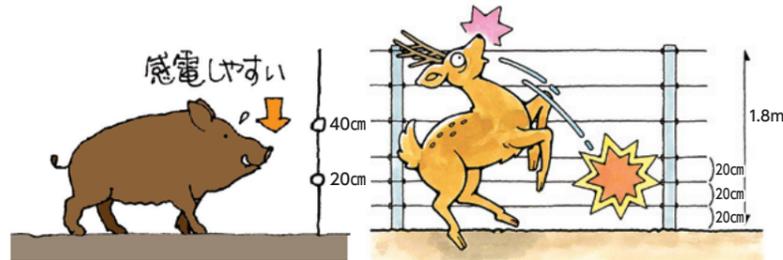
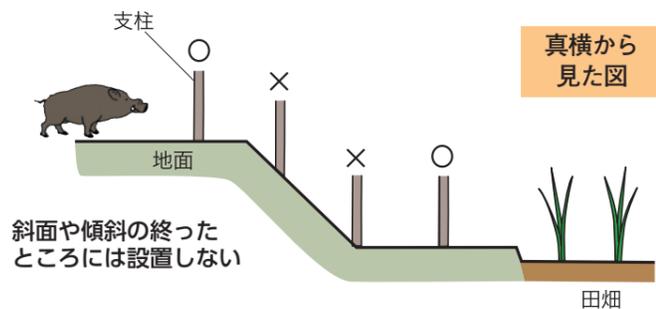


電気柵の基本

イノシシの場合、上の段は高さ40cmで、親イノシシがちょっと上を見るときの鼻の位置。下の段は20cmで、もぐりこもうとするときの鼻の高さ、ウリ坊とも兼用（シカと兼用する場合には高さを確保する）。



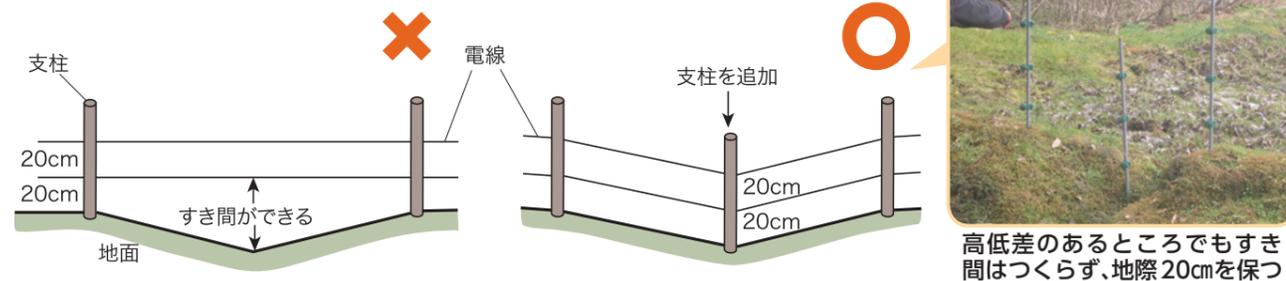
電気柵の設置場所に注意しましょう！



よくある失敗① 舗装道路のすぐわきに設置



よくある失敗② 高低差のあるところにすき間ができる



イノシシ(シカ) ワイヤメッシュ柵・金網柵 設置のポイント

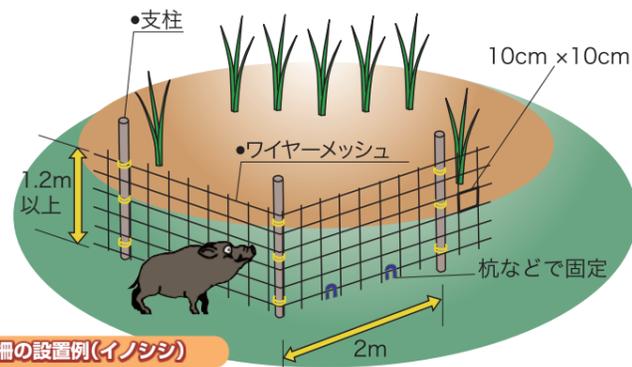
柵の内、外に草刈り等の管理ができるスペースを確保します。なお、柵の周りの草刈りは必須です。

柵の高さは、イノシシなら1.2m以上、シカなら1.8m以上が必要です。

網目は、イノシシ・シカ問わず10cm以下にします。

ワイヤメッシュ柵

ワイヤメッシュ柵は中の作物は見えちゃうものの、丈夫な網線を縦横に溶接した建築資材で、強度に優れた柵として利用できます。



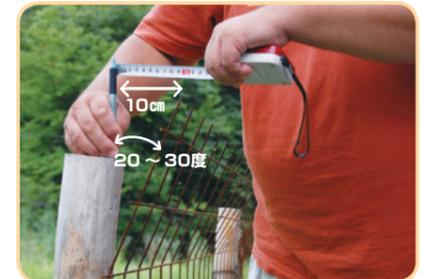
ワイヤメッシュ柵の設置例(イノシシ)

●ワイヤメッシュには表裏があります。縦のワイヤーが外(鳥獣)側、横のワイヤーが内(作物)側になるように設置します。
※イノシシがくわえてワイヤメッシュを壊さないようにするコツです。

●鋼線が細いとイノシシに折り曲げられますので、太さ5mm程度のもを使用します。

●支柱は2m程度の間隔で地中に十分打ち込み、支柱とワイヤメッシュを針金などで強く固定します。また、地面と接する部分をくぐり抜けられないよう、杭などで固定するとより効果的です。

●忍び返し効果 ワイヤメッシュの上部30cmを外側に20~30度折り曲げると、イノシシは、柵が迫ってくるように見え、踏切位置が遠くなり、飛び越しをあきらめさせることができます。



ワイヤメッシュの上部30cm程度のところをおよそ20~30度折り曲げる。折り曲げなかった場合と比べると上端部は10cm程度外へ傾く



折り返し(忍び返し)のあるワイヤメッシュ柵の設置状況



もぐりこまれないよう、地際部を密着させ、支柱にしっかり固定

金網柵

●地面と接する部分は、イノシシがくぐり抜けようとしています。多めに杭を打つ、竹などをあてがい結束するなど、しっかり補強しましょう。

●牙によって針金が切断される場合もあるため、強度が高いものを使用します。

●編み目を広げられないよう、注意が必要です。

